

ビグアナイド系糖尿病薬 服用患者における注意点

重要な基本的注意

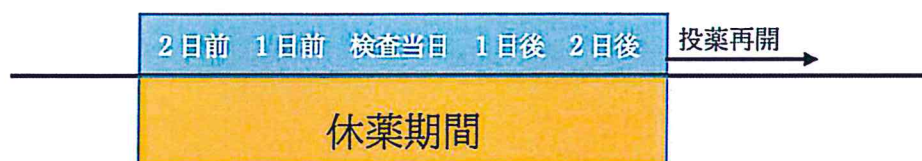
ヨード造影剤を用いて検査を行う患者においては、ビグアナイド系糖尿病薬（以下に一覧参照）の併用により乳酸アシドーシスを起こすことがあります。ビグアナイド系薬はおもに肝臓における乳酸からの糖新生を抑制することによって血糖を低下させているため、服薬により血中の乳酸は増加する傾向にあります。ヨード造影剤の投与により腎機能が低下した場合、ビグアナイド系薬の排泄が遅延し、過量投与と同じ状態になり、乳酸アシドーシスが生じることがあります。

従って、検査前は当該薬の投与を一時的に中止していただきますようお願いいたします。

ヨード造影剤投与後48時間は本剤の投与を再開しないようお願いいたします。なお、投与再開時には、患者の状態に注意していただきますようお願いいたします。

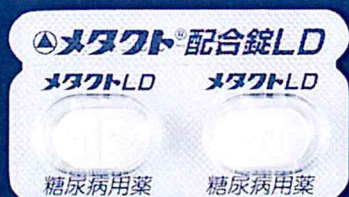
※ビグアナイド系糖尿病薬一覧を次ページに掲載してあります。

ビグアナイド系糖尿病薬休薬から投薬再開までの流れ



※検査当日の問診にて当該薬の服用中止がなされていなかった際には、検査を中止または、延期させていただく場合があります。ただし、緊急または依頼医が必要と判断した際には、その限りではありません。

下の写真の“糖尿病薬”を飲まれている方は
造影CT検査や尿路造影剤検査を受ける前に
放射線科スタッフにお知らせください



メタクト配合錠 LD



メタクト配合錠 HD



エクメット配合錠 LD



エクメット配合錠 HD



メトアナ配合錠 LD



メトアナ配合錠 HD



イニシンク配合錠



グリコラン錠250mg



メトホルミン塩酸塩錠250mg「トーフ」



メトホルミン塩酸塩錠250mg「SN」



ジベトス錠50mg



ジベトンS腸溶錠50mg

下の写真の“糖尿病薬”を飲まれている方は 造影CT検査や尿路造影剤検査を受ける前に 放射線科スタッフにお知らせください



メトグルコ錠250mg



メトグルコ錠500mg



メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「三和」



メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「三和」



メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「トーフ」



メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「トーフ」



メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「日医工」



メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「日医工」



メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「ニプロ」



メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「ニプロ」



下の写真の“糖尿病薬”を飲まれている方は
造影CT検査や尿路造影剤検査を受ける前に
放射線科スタッフにお知らせください



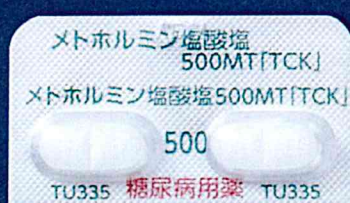
メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「JG」



メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「JG」



メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「TCK」



メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「TCK」



メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「TE」



メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「TE」



メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「ファイザー」



メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「ファイザー」



メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「DSEP」



メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「DSEP」



下の写真の“糖尿病薬”を飲まれている方は
造影CT検査や尿路造影剤検査を受ける前に
放射線科スタッフにお知らせください



メトホルミン塩酸塩錠250mgMT「DSPB」

メトホルミン塩酸塩錠500mgMT「DSPB」

2020.5追記